盛り上げよう 信楽まちなか芸術祭 10

信楽陶芸トリエンナーレ2010「信楽まちなか芸術祭」が10月1日、信楽地域一円で開幕しました。11月23日までの54日間にわたり、さまざまな催しを楽しめます。地元や実行委員会の皆さんを中心に展開される多彩なイベントを通して、皆さんもまちの魅力を体感してください。

トリエンナーレ情報局

会期●10月1日(金)～11月23日(火・祝)

飾らない信楽を発信

▲テープカットを行う中嶋市長ら

開会行事は10月1日、県立陶芸の森で行われました。安田副市長が、信楽焼をはじめとする地場産業の再生をめざし、安全管理重視の事業運営に努めると宣言した後、市長らがテープカットし、信楽にこにこ園の園児たちが風船を放ち開幕を祝いました。オープニングセレモニーには関係者ら約170名が出席、実行委員会会長の中嶋市長が「飾らない信楽の姿を発信したい」とあいさつし、地場産業関係者をはじめ、出席者一同が成功への思いを一つにしました。

開幕を記念した「日本六古窯※サミット」では各産地の首長がそれぞれの焼き物の歴史や現状を報告しました。日本の伝統の素晴らしさを世界へ向けてPRしていくことを確認しあい、陶都としての品格や魅力あるまちづくりをめざすというサミット宣言をしました。

※日本六古窯・・・信楽焼のほか、備前焼、丹波焼、越前焼、瀬戸焼、常滑焼の六窯

▲サミット宣言を行う
(左から)西岡備前市長、酒井篠山市長
中嶋市長、関越前町長、増岡瀬戸市長
片岡常滑市長

多彩なアートイベントもスタート

開幕と同時に、5つの会場でも多彩なイベントが始まりました。

窯元が多く集まる長野地区「まちなか会場」では、点在するアート作品を眺めながら地元の人々とふれあうことができます。初日には、国際姉妹都市の一つで信楽と同じように陶器が盛んな韓国利川(イチョン)市の金昌奎(キムチャンギュ)副市長も来訪され、利川陶磁器をはじめ韓国でも高名な作家の作品展や、信楽焼の工房などを視察されました。

このほか、信楽焼の魅力を見つめ直す各種展覧会が「陶芸の森会場」や「MIHO(ミホ) MUSEUM(ミュージアム)会場」で、「紫香楽宮会場」では、紫香楽宮の歴史を学ぶ講演会や企画展などが、「朝宮会場」では朝宮茶の手もみなど、お茶どころならではの催しが開催されています。

54日間の期間中、いつ訪れても見どころいっぱいの「信楽まちなか芸術祭」に皆さんもぜひ何度もお出かけください。

問い合わせ　信楽陶芸トリエンナーレ実行委員会事務局（特区推進室）
☎ [redacted]　FAX [redacted]　ホームページ　http://tri.shigaraki-sp.com

がんの早期発見、早期治療に向け連携

～がん検診受診率向上プロジェクト協定締結～

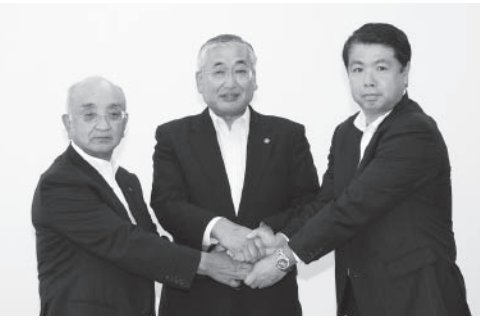
日本では「がん」でおよそ3人に1人が亡くなり、市でも死亡原因の第1位となっています。

がん対策には早期発見、早期治療が非常に有効なことから、がん検診の受診率を向上させることが重要です。

市では、がん検診の普及啓発や受診率の向上に向けた活動を積極的に推進するため、湖東信用金庫とアメリカンファミリー生命保険会社(アフラック)との間に、がん検診受診率向上プロジェクト協定を締結しました。

9月17日に行われた調印式では、中嶋市長と湖東信用金庫大西和彦(おおにしかずひこ)理事長、アフラック大川(おおかわ)泰貴(やすき)執行役員が出席、健やかなまちづくりに向けて連携を約束しました。

この協定により、各団体が連携、協力しながらがん検診の推進に取り組みPRし、より多くの皆さんにがん検診の重要性を理解していただくことで、受診率の向上が期待できます。


▲調印式での固い握手
(左から大西理事長、中嶋市長、大川執行役員)